

【採用内定取消の記載例】

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇

※個人の場合は、署名又は記名押印

※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を
署名又は記名押印

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんで申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	正社員(アルバイト、パート等)
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	サービス業 ※業種
あっせん事項		他社に就職したら得ていたであろう収入分の支払いを求める。 また、会社への電話連絡費用の支払を求める。		
当事者の主張	労働者	採用内定の通知を受けていたため、誘いを受けていた他社への就職を断念した。 就職の機会が失われ損害が生じた。		
	使用者	明確に採用内定をした訳ではない。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 面接を受けた。 同年〇月〇日 担当者から電話連絡で「〇月〇日から働いてもらうが、事前に研修を受けてもらうので、後日連絡するまで待機するように」との採用内定の通知を受けた。その後、数回にわたり研修日確認の電話連絡をしたが、未定と言われた。 同年〇月〇日 担当者から人員が充足したので採用を取り消すと連絡があった。 同年〇月〇日 本社の人事課長に連絡をとり、採用内定取消しによる損害賠償を求めたが、拒否された。		
参考事項		同年〇月〇日、山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書(有・無) 就業規則(有・無) 労働組合(有・無) 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日(勤続年数〇年) 対応者 〇〇本社 人事課長 〇〇 〇〇		